放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2 年 3 月 31 日　　事業所名　ゆめみたす

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		運営基準は満たしておりますが、最近利用者様も増えたこともあり、日によっては少し手狭になってきたかなと感じることもあります。 公園遊びなどの外出支援を交えて、楽しみながら安全に過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		法令に定められた必要配置数より多めに職員を置いています。 また、定期的な研修の他、日頃から職員間のモニタリングや振り返りを通して、職員一人ひとりの専門性を高められるよう努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	1	玄関の上り框をフラットにしたり、床にクッションマットを敷いて利用者みんなが同じ空間で過ごせるようにしています。ただ現状トイレに手すりが設置されていないので、今後設置する予定です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1		職員間での振り返りや、お子様の課題に対するケース会議を行い、今後の目標を話し合うようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		毎年、ホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			事業所内で職員間の虐待防止研修を行っています。また、行動援護研修など、外部の民間学校で開催されている研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		クリスマス会やひな祭りなど、季節ごとのイベントを全員で企画しています。 また、職員からも自由にプログラム提案してもらい、皆で協力して形にしていっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		職員それぞれの得意分野を生かしたプログラムで、固定化しないよう案を出し合っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	1	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			希望される保護者様には保護者様同席のもと、職員間で会議を行い課題の確認と今後の目標を話し合うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	2	4		事業所内にガイドラインをいつでも閲覧できる状態で起き、普段からガイドラインに沿った支援を行えるよう、意識付けをしていきたいと思います。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			普段から学校を含め、家庭やお子様自身とも積極的に情報交換しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1	未だ該当するお子さんの受入れがありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		未だ該当するお子さんの受入れがありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		1	公園や子ども食堂などで交流機会を持っています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		送迎時に顔を合わせた際に日々の状況をお伝えしたり、連絡帳などで連絡は取り合うようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	5		1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		相談支援事業所の職員さんを招いて、将来の進路に関する勉強会や、懇親会を行いました。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		不定期ですが、事業者内で保護者様同士の茶話会などのイベントを開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			日々の活動や行事など、随時ブログにもアップしています。
	35	個人情報に十分注意している	6			見学の方が来る際などは室内に貼っている児童の名前カードを剥がしたり等、情報が目や耳に入らないよう留意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		保護者様にも最初のご契約の際にお話はさせて頂いています。マニュアルは常に見直しと確認を行い、修正などがあった場合は再度周知・説明を行うように致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			消防訓練や不審者対策などの訓練を、児童と一緒に行っています。先日は南消防署協力のもと、消化器の使い方などを勉強しました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		虐待防止の研修を行い、職員間でも日々お互いの行動を確認しあっています。普段からどのような対応が虐待になるのかを話し合い、意見交換しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		やむを得ず身体拘束を行う必要が出てきそうな場合、保護者様はもちろん職員にも事前に理解ができるよう、事例とともに十分な説明を行うようにします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		